







TIAと「かけはし」について ～研究・技術の種をお探しですか？～

概要 Outline

TIAは、産総研、NIMS、筑波大学、KEK、東京大学が協力して運営するオープンイノベーション拠点です。5つの機関の総合的な研究開発能力（人材、施設、知的財産等）を結集して、知の創出から産業化までを一貫して支援します。連携プログラム探索推進事業「かけはし」は、TIAの活動の4つの柱の1つです。TIA内外の連携を促進し、技術の種や芽を育てる活動をサポートしています。

TIAの4つの活動

研究開発拠点

-  **ナノエレクトロニクス**
産総研のスーパークリーンルームを活用したナノデバイス開発
-  **パワーエレクトロニクス**
 - SiC パワーデバイス開発
 - 超電導技術開発
-  **MEMS**
産総研のMEMSファクトリーを活用したセンサ・IoT技術開発
-  **ナノグリーン**
環境・エネルギー分野の材料技術
-  **CNT**
 - CNT大量生産
 - CNT応用材料
 - 安全管理・評価
-  **光・量子計測**
 - 光量子発生技術
 - 光量子センシング
 - 光量子ナノ材料

共用施設



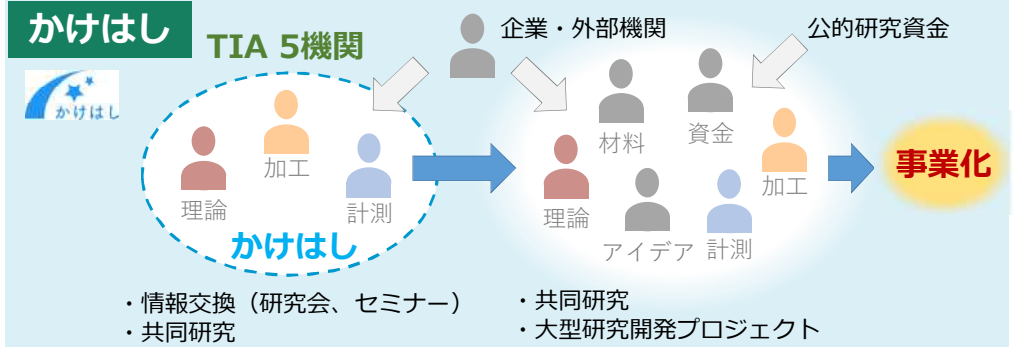
人材育成



かけはし

TIA中核5機関が組織の枠を超えて連携し、新領域を開拓するための調査研究や連携活動を支援する事業です。

異なる専門の技術と知見を持ち寄り、公開の研究会やセミナー、展示会などによって研究者やノウハウ、研究資源、資金を巻き込んで、研究開発の大きな連携に育てていきます。



2018年度の活動予定

- ◆ 2018年度かけはし 全47課題（新規21件、継続26件）開始
- ◆ 第10回TIAシンポジウム(10/9)開催予定